

中学校

言語活動 「課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する」

育成したい
言語の能力

考える力：課題を見付け、見通しを基に実験計画を考える。
表す力：実験結果から、根拠を明確にし、自分の考えを加えて、記述し、報告する。

教材等の例

課題について予想するためのきっかけとなる根拠を書く欄を設けた。

生徒記入例
細くなった 消化しやすくするため
ねちねちよした だ液と混じった
甘くなった 糖になった

「生きるために行っていること」
ご飯をかみ続けて、口の中で起こる変化は

課題	結果
予想	考察
方法	結論

ワークシート 例

試験管
A - アは...
A - イは...
B - アは...
B - イは...

それぞれ、しっかりと記入する。



単元名等

2年 理科 「動物のからだのはたらき」

2・3時間目/10時間

本時の目標

だ液によって、デンプンが糖に分解されることを実験により調べる実験計画を立て、実験計画をもとに実験を行い、だ液によってデンプンが糖に分解されることを明らかにする。

本時の流れ

構想する

課題の見通しをもたせるために、御飯を3分間かみ続け、その結果からデンプンは何に変化したか予想を立てる。
実験計画を根拠を明確にしながら、簡単にまとめる。

指導の工夫

個で実験計画を立案した後、班で話し合い、計画を練り上げる。
実験計画が分かりやすいように、図や文で書く。

実践する

デンプン溶液にだ液を加えた物と、デンプン溶液に水を加えた物の対照実験を行い、それぞれヨウ素反応とベネジクト反応について調べる。
班の結果をワークシートにまとめ、全体に発表する。

試験管にビニルテープで印を付け、一つ一つの結果を正確に捉える。
実験結果を詳しく正確に書くために、図や文や表にまとめる。

評価・改善する

対照実験におけるヨウ素反応とベネジクト反応の結果を関連付けて考察し、自分の考えを入れてワークシートにまとめる。
各自の考察を発表し合う。
全体の考察からまとめをする。

実験から得られた結果や既習の知識・技能を関連付け、それを根拠として考察したことを自分の言葉でまとめ報告するようにする。